

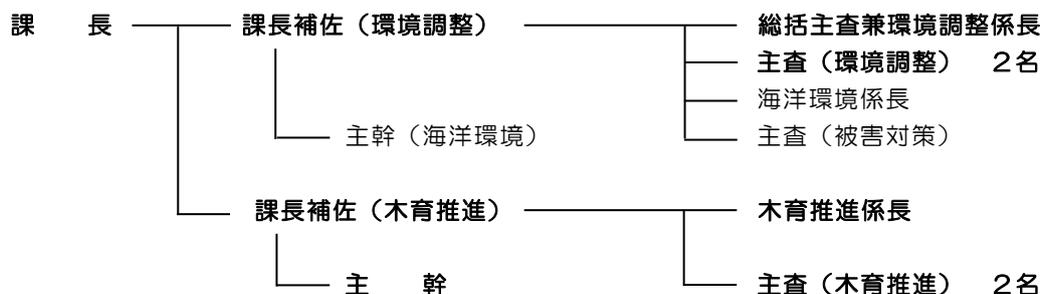
森林海洋環境課

担当する事務（林務関係）

- 1 木育を通じた協働の森林づくりに関すること
- 2 森林吸収源対策に関すること

組織図 ※太字は林務関係

住 所 : 札幌市中央区北3条西6丁目 本庁舎11階



施策

頁数	施策名	担当(係)	備考
108	1 森林由来クレジット創出促進事業費	環境調整係	予算
109	2 「北海道の mokuiku (木育)」推進事業費	木育推進係	//
110	3 道民ひとり1本植樹・育樹運動推進事業費	//	//
111	4 北海道植樹の日・育樹の日推進事業費 (北海道・木育フェスタ開催費)	環境調整係、木育推進係	//
112	5 ほっかいどう企業の森林づくり推進事業費	木育推進係	//
113	6 北海道グリーンワーケーションの推進	環境調整係	他
113	7 道漁連と市町村の連携による森林づくり活動への 支援事業費	//	予算
114	8 森林認証制度の理解の促進に向けた取組	環境調整係 林業木材課林業木材係 道有林課道有林管理係	他
115	9 木育マイスター育成事業費	木育推進係	予算
116	10 道民との協働の森づくり推進事業費	//	//
117	11 森林・山村多面的機能発揮対策推進費	//	//
118	12 道立の森維持運営費	//	//
119	13 地域連携促進事業費	//	//
119	14 オホーツク森林産業振興協会事業費	//	//

※備考欄：予算事業である施策は「予算」、その他の取組である施策は「他」

森林由来クレジット創出促進事業費

1 目的・概要等

「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献するため、森林由来クレジットの創出に取り組む市町村等への支援や道有林における天然林での創出実証を行い、J-クレジット制度の活用を通じた森林整備の促進を図る。

2 事業内容

区分		内容	実施方法	予算額(千円)
クレジット創出支援	説明会等の開催	○クレジット創出促進説明会の開催 ・クレジットの大規模創出手法等の説明 ・今後のクレジット需要の見通しについての情報提供など ○実務研修会の開催 ・クレジット創出量の算定、収入やコストの試算方法 ・計画書の作成やモニタリング調査の実施の手法など	委託	8,491
	相談窓口の設置	○専門家によるアドバイス ・事業化を支援するための指導・助言 ・計画書の作成などに対する指導・助言		
道有林における天然林モデル実証	創出実証	○天然林のプロジェクト登録に向けた実証 ・現地調査や登録申請データの整理 ・計画書の作成及び申請	委託	7,408
	巡視路の整備	○天然林の現地調査に必要な巡視路の整備等 ・巡視路の整備等	直営(請負)	5,227

3 展開イメージ

北海道

- ・市町村の森林由来クレジット創出を支援するための説明会や実務研修の実施
- ・効率的なクレジット創出に向けた相談窓口の設置
- ・道有林における人工林での航空レーザ測量を活用した大規模創出を試行的かつ先導的に実施(キキタ・グリーンクレジット)
- ・道有林において天然林でのクレジット創出を実証

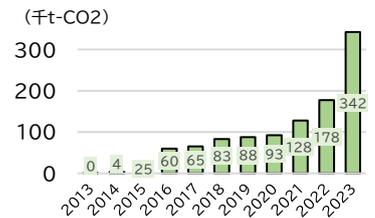
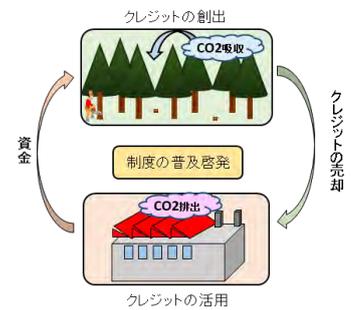
▽ ノウハウの提供などによる市町村支援

市町村

- ・クレジット制度の理解向上による森林由来クレジットの取組の加速
- ・市町村有林における航空レーザ測量の活用による大規模クレジットの創出
- ・地元の森林組合など私有林への波及

▽

森林整備をはじめとする森林吸収源対策を推進し、
ゼロカーボン北海道の実現に貢献



森林管理プロジェクトによる
クレジット認証量(累計)の推移(全国)

区分	道単独	予算額(千円)		国	道	その他
実施主体	北海道	R6年度	21,126	—	21,126	—
実施年度	R5～R7	R5年度	21,127	—	21,127	—
負担区分	上記「負担区分」のとおり ※道費は「森林整備等支援 基金繰入金」	担当課・係	森林海洋環境課 環境調整係 道有林課 道有林管理係			

「北海道のmokuiku（木育）」推進事業費

1 目的・概要等

多様な分野との連携により、木育を幅広い年代や地域の人々が意欲を持って取り組める息の長い道民運動として定着をはかる。

2 事業内容

区分	内容
子育て支援との連携	○認定こども園、児童館等との連携による木育教室 ・親子を対象とした子育てや木育に関する講話、木工作体験や森林を活用した活動
	○食育をはじめとした多様な「育」との連携による普及啓発イベント ・商業施設等での食育・花育と連携した体験教室、関連するパネル展示 ・親子等を対象とした冬期間における森林散策 ・夏休み期間等を活用した宿泊による木育体験
教育との連携	○初任段階教員への木育研修 ・北海道教職員研修計画における研修との連携
	○大学等との連携による普及啓発イベント ・各学校のカリキュラムを活用した木育講義や学生との普及啓発イベント
企業等との連携	○木育マスターの活動に対する支援 ・企業版ふるさと納税による寄附金を活用した支援



認定こども園との連携による木育教室



児童館との連携による木育教室



多様な「育」との連携による普及啓発イベント



初任段階教員への木育研修



大学における木育講義



木育マスターの活動に対する支援

区分	道単独	予算額（千円）		国	道	その他
		R6年度	R5年度			
実施主体	北海道	R6年度	9,092	—	8,692	400
実施年度	R2～	R5年度	9,569	—	9,169	400
負担区分	道10/10 その他：寄附金（企業版ふるさと納税）	担当課・係		森林海洋環境課木育推進係		

【新規】道民ひとり1本植樹・育樹運動推進事業費

1 目的・概要等

道民ひとり1本植樹・育樹運動を推進するため、教育・保育機関において植樹・育樹（体験）と環境教育（知識習得）を一体的に実施することで、「森林づくり」や「ゼロカーボン北海道」についての理解促進を図る。

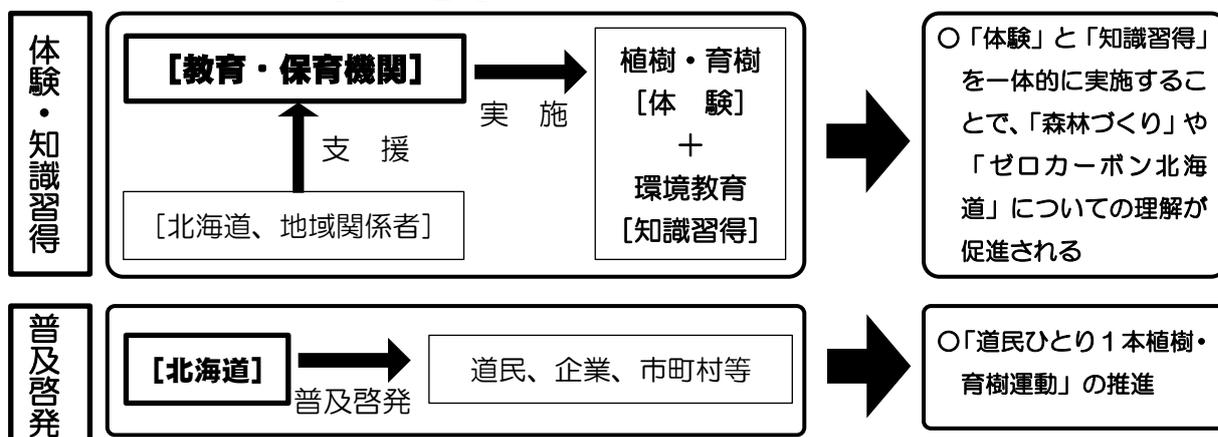
2 事業内容

区分	内容
体験・知識習得	対象機関 ○教育・保育機関 〔幼稚園、認定こども園、保育所、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校〕
	実施回数 ○2回/年 × 14振興局
	植樹・育樹 ○植樹・育樹（施肥、下刈り、枝払い、除伐、間伐等）活動支援 ・交通費、苗木代の補助 など
	環境教育 ○ゼロカーボン北海道にかかる環境教育の実施支援 ・講師：地球温暖化防止活動推進員 など
普及啓発	○「道民ひとり1本植樹・育樹運動」の普及啓発 ・普及啓発資材の作成、木育イベントの場等を活用した普及啓発

【事業スキーム】

[取 組]

[効 果]



道民ひとり1本植樹・育樹運動 ～さあ、北海道の未来を植えよう。～

【経過】

- ・H30.12 「北海道植樹の日・育樹の日条例」制定
- ・R 2.3 2050年ゼロカーボン北海道を宣言
- ・R 5.10 「木育」の推進や、「ゼロカーボン北海道」の実現に向け運動に取り組むことを宣言

【概要】

全国一豊かな北海道の森林を未来に引き継いでいけるよう、道民一人ひとりの力を合わせ、全道で500万本の植樹・育樹を目指す運動



＜知事による運動宣言＞

区分	道単独	予算額（千円）		国	道	その他
		R6年度	R5年度			
実施主体	北海道	13,087	—	—	13,087	—
実施年度	R6～	—	—	—	—	—
負担区分	道10/10 ※道費は、「森林整備等支援基金繰入金」	担当課・係		森林海洋環境課木育推進係		

北海道植樹の日・育樹の日推進事業費（北海道・木育フェスタ開催費）

1 目的・概要等

道民との協働による森林づくりを進めるため、北海道・木育フェスタ等の開催により「北海道植樹の日・育樹の日」の普及啓発を行う。

2 事業内容

(1) 北海道・木育フェスタの開催

- ・主催：北海道、北海道森林管理局、公益社団法人北海道森と緑の会 等
- ・協力：林業関係団体 等
- ・協賛：包括連携協定企業 等

<主な内容>

イベント名	内容
①開会式／「緑の募金」街頭募金	内 容：フェスタ2024開会式、緑の羽根伝達式、「緑の募金」街頭募金、「北海道植樹の日・育樹の日」PR 開催日：令和6年5月11日（土） 場 所：道庁1階ロビーホールほか 参加者：ボーイスカウト・ガールスカウト、一般道民ほか 約150人
②北海道植樹祭	内 容：植樹、「北海道植樹の日・育樹の日」PR 開催日：令和6年5月19日（日） 場 所：苫東・和みの森（苫小牧市） 参加者：緑の少年団、一般道民ほか 約1,000人
③道民森づくりの集い	内 容：森林ボランティア団体等の活動紹介や育樹活動、木育マイスターによるワークショップの実施 等 開催日：令和6年10月上旬予定 場 所：サッポロさとらんど（札幌市）予定 参加者：一般道民ほか 約 1,000 人
④木育ひろばinチ・カ・ホ	内 容：木育ひろば、木工体験、「北海道植樹の日・育樹の日」PR 等 開催日：令和6年12月下旬予定 場 所：札幌駅前通地下歩行空間 予定 参加者：一般道民ほか 約 1,500 人

(2) PRの実施

道内各地域で開催される木育イベント等において、北海道植樹の日・育樹の日の普及啓発を実施。

- ・PRフラッグ（大型の横断幕）やポスターの掲示、リーフレットやノベルティの配布等

<参考 令和5年度の主な取組>



R5.5.28 第73回北海道植樹祭



R5.10.22 道民森づくりの集い



区 分	道単独	予算額（千円）		国	道	その他
		R6年度	R5年度			
実施主体	北海道	9,668	—	—	9,668	—
実施年度	S59～	9,668	—	—	9,668	—
負担区分	道10/10	担当課・係		森林海洋環境課環境調整係 木育推進係		

ほっかいどう企業の森林づくり推進事業費

1 目的・概要等

企業等が主体となった木育活動が一層進むよう、環境保全に関心があり CSR 活動等に取り組む意欲のある民間企業・団体と、フィールドを提供する市町村等の森林所有者とのマッチングを行い、企業等と連携した森林づくりを推進する。

2 取組内容

企業等と森林所有者のニーズを把握し、次の取組みを実施する。

<p>○マッチングの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業等と森林所有者に対して、森林づくりコーディネーターと共に、候補森林の調査、制度説明、現地視察等を行うマッチングの実施 地域林業に精通し森林づくりや木育活動の助言ができる「森林づくりコーディネーター」の登録・育成 候補森林の検索機能や取組事例等を掲載したホームページの整備 	反映	<p>○推進体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業等と森林所有者のニーズの把握とマッチングの推進、制度普及PR方法等の検討を行う「ほっかいどう企業の森林づくり」推進協議会の開催
<p>○制度普及PR</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境保全に関心がある層に対する検索連動型広告の実施 道外企業への制度PRを目的とした首都圏イベントへのブース出展 		



協定調印式



植 樹



木工作体験

区 分	道単独	予算額 (千円)		国	道	その他
		R6年度	R5年度			
実施主体	北海道	7,385	—	—	7,385	—
実施年度	R4~R6	13,726	—	—	13,726	—
負担区分	道10/10 ※道費は、「森林整備等支援基金繰入金」	担当課・係		森林海洋環境課木育推進係		

北海道グリーンワーケーションの推進

1 目的・概要等

山村振興や協働による森林づくりへの道民理解を促すため、道民や企業等に対して北海道グリーンワーケーション（森林活用型のワーケーション）の普及PRを行い、森林空間の新たな活用を推進する。

（現状・課題）

- 自然や森林、食など本道の優位性を活かし、企業等の様々なニーズに対応可能なワーケーションを「北海道型ワーケーション」として、オール北海道で取り組んでいるところ。
- 森林には癒し効果があると言われることから、様々な森林体験プログラムを余暇に取り入れるなど森林や木質空間を活動の場とするグリーンワーケーションを売り込む好機。
- 道民や企業等にグリーンワーケーションのメリットや森林体験が可能な施設等について情報発信するとともに、市町村等にグリーンワーケーションの導入について働き掛けることが必要。

2 取組内容

- 木育イベントや北海道ビジネス EXPO など多くの道民や企業等が参加するイベントで、PR動画やガイドブック等を活用し、企業等に対して広く普及PRを実施。
- グリーンワーケーションに関心がある企業等を対象に、道民の森における、植樹や木工など森林体験プログラムを取り入れたワーケーションの実施に向けて調整。
- ほっかいどう応援団会議への参加企業や、包括連携協定締結企業等のニーズを把握し、受入可能な道内市町村とのマッチングを実施。



担当課・係	森林海洋環境課環境調整係
-------	--------------

《森林整備等支援事業費》

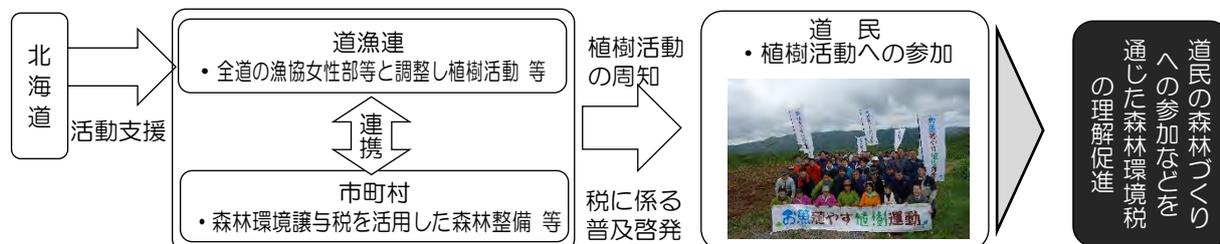
道漁連と市町村の連携による森林づくり活動への支援事業費補助金

1 目的・概要等

全道的に植樹活動に広く取り組んでいる北海道漁業協同組合連合会（道漁連）と、森林環境譲与税を活用した森林整備の主体となる市町村が連携して実施する植樹活動に対して支援することにより、森林づくり活動を通じた森林環境税への理解促進を図る。

2 事業内容

区分	内容	実施主体	補助率
森林づくり活動に係る企画調整や税等の普及啓発	「森林づくり活動」実施のための調整等に対する助成 ・ 広報活動、森林環境税の普及啓発に対する経費等	道漁連	1 / 2 以内
森林づくり活動の促進	「森林づくり活動」に対する助成 ・ 植樹苗木代や地拵え経費等		定額



区分	道単独	予算額（千円）		国	道	その他
		R6年度	4,000			
実施主体	北海道漁業協同組合連合会	R6年度	4,000	—	4,000	—
実施年度	R2～	R5年度	4,000	—	4,000	—
負担区分	上記「負担区分」のとおり ※道費は「森林整備等支援基金繰入金」	担当課・係	森林海洋環境課環境調整係			

森林認証制度の理解の促進に向けた取組

1 目的・概要等

道内の認証森林面積は、R5年度末で約 152 万 ha と全国の約 6 割を占めており、引き続き、森林認証制度を通じた環境に配慮した持続可能な森林経営の定着や、地域材のブランド化などを進めるため、認証取得に取り組む地域などに対する先進事例の情報提供や、道産森林認証材の需要拡大に向けたPRなど、地域の活性化に向けた取組を支援する。

2 取組内容

(1) 森林認証材を含めた道産木材の魅力の発信

①一般消費者に対する森林認証制度や道産森林認証材の普及

- ・ 木育、HOKKAIDO WOOD 関連イベントなどで認証マークや製品に触れる機会を提供し、森林認証制度の定着を促進
- ・ 認証管理団体と連携して、認証制度のイベント等を開催し、道内の取組、道産森林認証材の利用についてPR

②産業消費者等に対する森林認証制度や道産森林認証材の利用促進

- ・ 環境保全に関心のある企業や建築士、家具製造業者等に対し、「HOKKAIDO WOOD」関連のセミナー等において森林認証制度や道産森林認証材を普及

③都市部等における道産森林認証材の普及

- ・ 消費者の多い道外の都市部等において、選択的な購入につながるよう、道内における森林認証の取組や国内で最も認証林面積が広い道産森林認証材の優位性をPR

(2) 森林認証制度を通じた地域の活性化

①地域協議会の運営支援等

- ・ 森林認証の取組を進める地域協議会に対してグループ認証やプロジェクト CoC 認証等の事例提供等の支援

②地域と連携した道有林での認証取得の検討・ノウハウの共有

- ・ 森林認証材の安定的かつ大ロットでの供給に向けた、地域と連携した道有林での認証取得の検討
- ・ 森林認証取得等に必要となる森林施業や管理方法等について、道有林のノウハウを踏まえた情報提供

③森林認証材に対する地域住民の認知度や地域材の利用拡大の気運の醸成

- ・ 道有林での CoC 認証取得事業者限定入札等により森林認証材を安定供給や CoC 認証取得企業等が生産する商品への認証マークの使用の推進

担当課・係	森林海洋環境課環境調整係 林業木材課林業木材係（内線28-470） 道有林課道有林管理係（内線28-702）
-------	--

木育マスター育成事業費

1 目的・概要等

道民との協働による森林づくりを推進するため、木育活動をコーディネートする木育マスターを育成するとともに、多様化する木育活動へのニーズに応えるため、木育マスターのスキルアップやネットワーク化を促進する。

※「木育マスター」とは

北海道が認定する、木育を普及させる専門家。

森林体験や木工体験など木育活動の企画立案や指導、アドバイス、コーディネートができる人材。

2 事業内容

区分	内容
多様なニーズを踏まえた木育マスターの育成	<ul style="list-style-type: none"> ○木育マスター育成研修（集合研修+OJT） <ul style="list-style-type: none"> ・木育活動をコーディネートできる人材の育成 ・研修テキスト「木育達人（マスター）入門」に対応したカリキュラムを実施 【A日程】開催地：道央 定員：20名 第1回 7月、第2回 10月、OJT 7～10月 【B日程】開催地：道北 定員：20名（北森カレッジ生徒を含む） 第1回 7月、第2回 10月、OJT 7～10月 ○フォローアップ研修（集合研修） <ul style="list-style-type: none"> ・既認定木育マスターのスキルアップ及び情報交換 ・木育活動実践者等を講師に招いた講習会や、木育の実践的研修及び木育マスターとしての事例発表会などを実施 ・開催地：道央 開催時期：11月
木育マスターのネットワーク化促進	<ul style="list-style-type: none"> ○マスターミーティングの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・木育マスター支部代表など地域で指導的な役割を果たしているマスターとの意見交換 ・地域課題等の情報共有及び解決方策等の検討 ・年3回（オンライン含む）程度



林業体験～育林作業
(育成研修)



木育プログラムづくり
(育成研修)



ネイチャーガイドによる講習会
(フォローアップ研修)

区分	道単独	予算額（千円）		国	道	その他
		R6年度	6,098			
実施主体	北海道	R6年度	6,098	—	6,098	—
実施年度	R2～	R5年度	6,098	—	6,098	—
負担区分	道10/10 ※道費は「森林整備等支援基金繰入金」	担当課・係		森林海洋環境課木育推進係		

道民との協働の森づくり推進事業費

1 目的・概要等

道民、森林所有者、NPO等それぞれの役割に応じた協働による森林づくりを進めるため、道民が快適に森林を利用できる散策路の補修や木育に関する情報発信に取り組む。

2 事業内容

区 分	内 容
ふれあいの小径整備	<p>森林散策、地域での催事、木育活動、散策等の活動の場として道民が安全かつ快適に森林を利用できるよう、散策路等の補修や維持等ふれあいの小径を整備する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 散策路の補修 既存散策路の地表掻き均し等の補修 散策路の維持 既設散策路の草刈り等 入林者安全通行対策 林道の草刈り及び路面整備
木育の情報発信	<p>景観、草花、山菜、野生動物等の身近な森の資源と、森林の多面的な機能を支える森づくりと木材利用に関して道民が理解しやすく親しみやすい情報や体験を提供する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 木育の推進 森林づくりや木材利用、景観の優れた地域の見どころ等の情報をホームページや季節情報誌、パンフレット等により発信する。また、木育マイスター等による木育教室等を開催する。 森林の広報 森林の働きや森づくりの情報収集と情報発信を行う。

【取組の概要】

○ふれあいの小径整備



自然観察会での活用



散策路の整備

○木育の情報発信



木育の推進

区 分	道単独	予算額（千円）		国	道	その他
		R6年度	9,515			
実施主体	北海道	R6年度	9,515	—	9,515	—
実施年度	H14～	R5年度	10,571	—	10,571	—
負担区分	道10/10	担当課・係		森林海洋環境課木育推進係		

森林・山村多面的機能発揮対策推進費

1 目的・概要等

国民の自発的な森林づくり活動の促進を図るため、地域の活動組織が行う森林保全活動や森林資源の利活用などの取組に対して必要な経費を支援する国の「森林・山村多面的機能発揮対策」を推進する。

2 事業内容

国の森林・山村多面的機能発揮対策を推進するため、事業の周知や地域協議会の運営支援等を行うほか、地域協議会を通じて活動組織が行う取組に必要な経費への助成を行う。

- ① 北海道：地域協議会の運営支援、活動組織に対する指導・助言、取組経費に対する助成等
- ② 市町村：活動組織設立に向けた指導、活動組織に対する森林所有者との協定締結支援、取組経費助成等
- ③ 地域協議会：活動組織に対する実施計画の審査や活動経費の交付、制度説明会や安全対策講習などの開催

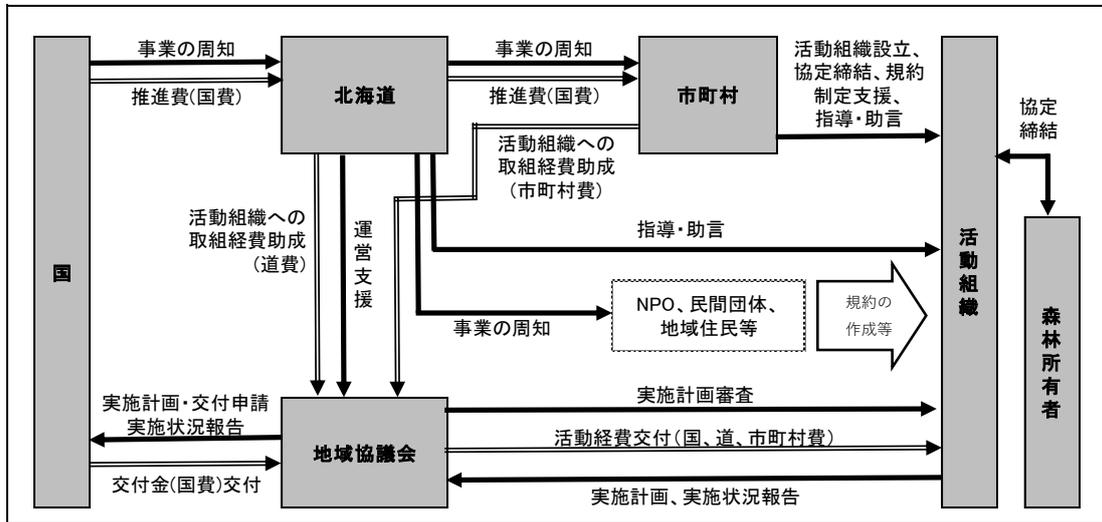
<森林・山村多面的機能発揮対策交付金の概要>

◆支援の対象

活動組織（NPOや民間団体、地域住民、森林所有者等で構成）による、次の取組に対して支援する。

- ① 地域環境保全タイプ：植樹、保育、枯損木の除去などの身近な森林の維持・整備等
- ② 森林資源利用タイプ：身近な森林の未利用資源を収集し、炭焼き、しいたけ原木等として活用
- ③ サイドメニュー：路網の補修・機能強化等や関係人口の創出・維持等の活動、資機材等の整備を支援
(上記①～②のメインメニューと合わせて実施。サイドメニューのみの実施は不可。)

◆事業の流れ



作業道作設



倒木撤去



薪づくり

区分	非公共（交付金）	予算額（千円）		国		
		道	その他	国	道	その他
実施主体	北海道、市町村、地域協議会	R6年度	12,317	3,648	8,669	—
実施年度	R4～R8	R5年度	12,317	3,648	8,669	—
負担区分	活動支援：道10/10 推進費：国10/10	担当課・係		森林海洋環境課木育推進係		

道立の森維持運営費

1 目的・概要等

多くの道民が森林と親しみ、森林を知り、その恵みを受けることによって、自然と共に生きる心を培うことを目的とし、レクリエーション、スポーツ、森林学習、文化活動などが体験できる森林総合利用施設である「道民の森」の維持運営を行う。

2 事業内容

(1) 道民の森指定管理者負担金

「道民の森」の管理運営を指定管理者に委託し、施設の管理運営を適切に実施する。

(2) 長寿命化対策等の実施

施設の劣化や損傷を未然に防止して効率的な維持管理を行うため、各施設の利用状況等を勘案し、今後とも活用する施設については、屋根や外壁の塗装の塗り替えなどの長寿命化対策を実施する。また、老朽化した施設や設備の更新、廃止する施設の解体撤去などを行う。

3 道民の森の活用

<「道民の森」の活用方針（平成 27 年 10 月策定）の概要>

○基本的な考え方（「道民の森」のあるべき姿）
「道民の森」が、「協働の森林づくり」の拠点となるよう、「森に学ぶ」機能を充実強化し、森林づくりへの理解と参加を促す

○期間と目標

- ・ 期 間 令和 7 年度までの概ね 10 年間
- ・ 目標指標 「道民の森」の利用者数 令和 7 年度：20 万人

○活用方策

<p style="text-align: center;">森林体験学習の充実強化</p>  <p>年齢や森林づくり活動の経験等に応じ、森林を体験し学ぶプログラムの開発・提供等</p>	<p style="text-align: center;">森林づくり活動フィールドの提供</p>  <p>植樹から伐採まで一連の森林づくり活動ができるフィールドの提供など</p>
<p style="text-align: center;">教育関係機関との連携強化</p>  <p>教育関係機関との連携等による学校利用の推進など</p>	<p style="text-align: center;">地域の取組への支援</p>  <p>自然体験施設へのプログラムの提供など</p>

○活用方策を進めるための条件整備

<p style="text-align: center;">民間ノウハウの活用</p> <p>森林活動指導者等で構成する会議を設置し、プログラムを開発</p>	<p style="text-align: center;">情報収集と発信の強化</p> <p>インターネット等を活用して、情報の収集と発信を強化</p>	<p style="text-align: center;">適切な施設の維持管理</p> <p>長寿命化対策を行い、維持費の急増抑制など効率的な管理・運営を進める</p>
---	---	---

区 分	道単独	予算額（千円）		国	道	その他
		R 6 年度	191,610			
実施主体	北海道	R 6 年度	191,610	0	191,600	10
実施年度	S54～	R 5 年度	192,545	0	192,535	10
負担区分	道 10/10	担当課・係		森林海洋環境課木育推進係		

地域連携促進事業費

1 目的・概要等

森林づくりへの理解促進を図るため、木育マスターや市町村、企業等が連携した活動を支援するとともに、全国植樹祭及び全国育樹祭の会場となった「苫東・和みの森」の適切な維持管理及び活用を行う。

2 事業内容

(1) 地域連携体制の構築支援

道内6圏域（道央、道南、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室）において木育マスターや市町村、企業等が連携し取り組むイベント等の企画・運営に必要なネットワーク構築を支援する。

- ・圏域ネットワーク会議の開催
- ・圏域連携イベント「圏域木育フェスタ」の企画・運営



釧路・根室圏域

(2) 「苫東・和みの森」の維持管理・活用

第58回全国植樹祭及び第44回全国育樹祭の式典会場として利用した「苫東・和みの森」を地域関係者と連携し適切に維持管理するとともに、木育活動の場として活用することで森林の多様性や森林環境税の役割等の普及啓発を図る。

○「苫東・和みの森」の概要

- ・場 所：苫小牧市字静川
- ・森林面積：約31ha



維持管理（草刈）

区 分	道単独	予算額（千円）		国	道	その他
		R6年度	4,656			
実施主体	北海道	R6年度	4,656	—	4,656	—
実施年度	R元～	R5年度	4,656	—	4,656	—
負担区分	道10/10 道費は「森林整備等支援基金繰入金」	担当課・係		森林海洋環境課木育推進係		

事業名						
(継)オホーツク森林産業振興協会事業費						
区 分	道単独				○事業内容 ・地域材利用促進 ①森林資源循環利用促進事業 ②新製品共同開発事業 ③地域材ブランド化推進事業 ④販路拡大事業 ⑤木製品販売事業 ⑥情報発信事業 ・木育促進 ①木育ネットワーク構築事業 ②木育体験機会の充実 ③木育のビジネス化	
予算額（千円）		国	道	その他		
R6年度	7,032	—	7,032	—		
R5年度	7,030	—	7,030	—		
目 的	道が推進する「木育」や「森林資源の循環利用」の取組などを促進するために、「一般社団法人オホーツク森林産業振興協会」へ指導を行うとともに、同協会が実施する事業に対して助成する。				事業内容	
実施主体	(一社)オホーツク森林産業振興協会					
実施年度	H6～					
負担区分	道1/2、その他1/2				担当課・係	森林海洋環境課木育推進係

